

コロナに 負けない

新型コロナウイルス感染症の拡大で、多くの産業が影響を受けました。特に、飲食や旅行、映画館など「生活娯楽関連サービス」で働く方々は、営業自粛やイベント自粛により大きな打撃を受けています。

そんな危機的な状況でも、挑戦し続ける西条市出身の俳優酒井貴浩さんと、その同級生であり、市内で飲食業を営む木下友輝さんに対談してもらいました。

かがやき
株式会社輝
代表 木下友輝さん

俳優
酒井貴浩さん

- 酒井** 「幼なじみは誰？」って聞かれたら、最初に名前が挙がるのが木下。西条市で一番最初に友達になったのが木下だったんですね。木下 そうやね。懐かしいね。
- 酒井** 西条市に帰ったら、まず連絡するのはいつも木下。今、木下は市内で「遊食友輝」と「Kitchenしゃいん」、「シメアテかがやき」の3店舗を経営していて、ほんとすごいと思うよ。コロナ禍で、飲食店はとても大変だったと思うのよ。お客さんが急に来ないとか、いろいろ苦労があったと思うけど、どうやって乗り切ってきたの？
- 木下** 具体的に言うと、外食に行けない人に向けてデリバリーサービスやテイクアウトを始めたり、近くのスーパーに売りに行ったり、企業さん向けの商品開発をしたりというところを取組んできたね。コロナ禍で閉めていくお店もある中、なんとか飲食業界全体を盛り上げたいという思いもあったので。
- 酒井** コロナにも負けずに「攻める」ね。
- 木下** ありがとう。そういう攻めの意識は常持っているよ。酒井も東京ではコロナの影響がすごかったんじゃない？
- 酒井** 2020年は仕事が飛んでしまったら、決まっていたものがなくなったりで、完全に収入がマイナスになっちゃったね。マイナスから戻すのは大変よ。まあ、そのときに木下と同じように守りに入るんじゃないかって、自分から仕掛けるしかないと思って、「オンラインで無観客の舞台」というコロナ禍ならではの挑戦をしたね。
- 木下** 攻めてるよね。
- 酒井** 攻めないで仕事にならないから。僕レベルの俳優って、代わりはいくらでもいるから。だから常に前へ前へを意識して。コロナ禍のピンチをチャンスに変えないと。そういう意味で、木下のがんばってる姿を見ると、幼なじみとか関係なく尊敬できるし、この人が小・中学校の同級生でよかったなって思えるんですよ。ちなみに、今後、木下がやっていきたい新しいプランはある？
- 木下** まずは、業界全体のイメージをアップさせて、地域に必要とされるお店を目指したい。このお店があつてよかったなと思ってもらえる店づくりをしたいね。そのためには、もう少し店も拡大しないとね。
- 酒井** やり手だね、すばらしいと思うよ、本当。こういう同級生がいてすごく心強いし、応援しています。
- 木下** ありがとう。酒井は？
- 酒井** 木下とは、土俵が違うけど、がんばってドラマだったり映画だったりに出て、結果を出すことが皆さんへの恩返し。自分一人で行いたいことを実現していくのは無理だから、周りの人の力を借りながらだけど、それは、飲食でも同じだと思う。助けてくれる人がいるから今があるので。僕も新しいことを2022年も仕掛けるし、楽しみにしててもらえるとうれしいかなと。いつか、木下のお店に来てくれるお客さんが「木下さんは酒井さんと」同級生なんですって」と言ってもらえるようにがんばります。



▲対談は木下さんのお店「遊食友輝」で